

児童・幼児教育学科の学びを紹介

～「軽度発達障害教育総論」～

本授業では、単に『障害による困難を支援し、乗り越えさせる』という視点だけでなく、『彼らの特性を活かす』という視点を養うことにより、発達障害児の成長に寄り添える教師像を目指しています。脳機能に関わる病理面及び心理面や生理面の特徴等を理解し、家庭や医療、福祉及び労働機関との連携について学びます。

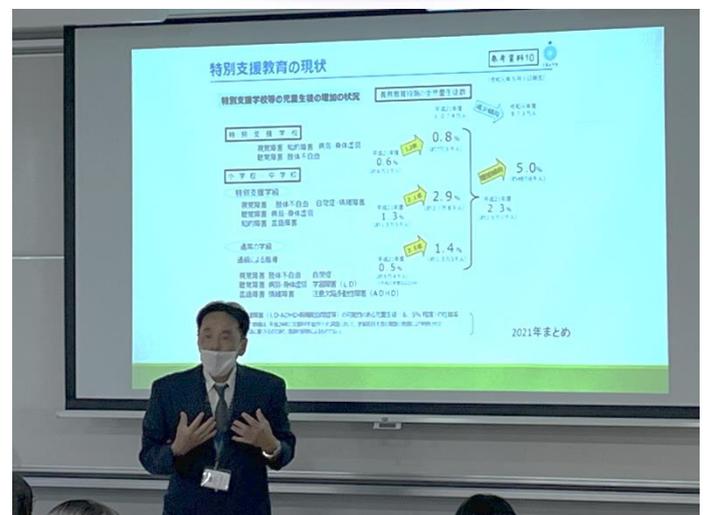


Voice

授業担当・鳴海先生より
特別支援学校における経験を活かして、インクルーシブ教育の実現に向けた特別支援教育の現状・課題等への対応を指導しています。



↑ 授業風景 ① 7/16 オープンキャンパスより
高校生を対象に、発達障害を理解すること、学ぶことの意義や大切さを伝えています。



↑ 授業風景 ② 7/16 オープンキャンパスより
これからの学校教育において、より特別支援教育の専門的知識が必要となることがデータに基づき説明されています。



← 授業風景 ③ 7/16 オープンキャンパスより
「障害」という言葉に関わる問題が解説されています。現在、どのような改善が施されているか、また今後どうなる必要があるかが丁寧に説明されました。